

脳画像診断支援システム

画像解析技術 - 脳ドック向け画像診断支援システム -

《特徴》

脳梗塞、認知症（痴呆症）の脳画像診断に威力を発揮するコンピュータ支援診断（CAD：Computer-Aided Diagnosis）システムです。DICOM3.0規格に準拠した医用画像を対象としており、検索しやすいブラウジング機能、診やすい比較読影機能、自己学習による画像解析機能から構成されています。年齢相応の脳の診断に有効です。

《対象業種》

医療情報産業、電子部品・デバイス製造業、
情報通信機械製造業 など

《実用化分野》

- 医用画像処理システム
- 工業製品や農産物の外観検査装置
- 顔画像を利用した個人認証システム

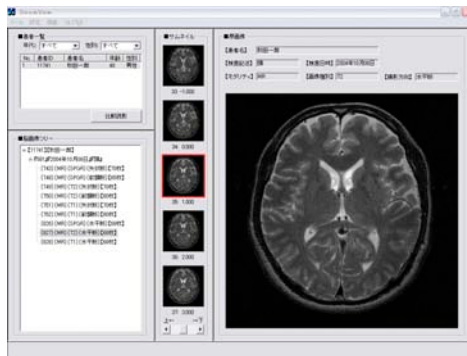


図1. ブラウジング画面

患者ID、検査ID、シリーズIDから表示対象画像を選択し、原画像と前後のスライス画像を表示します。サムネイル画像に赤枠マークが付き、原画像表示している画像が一目で確認できます。

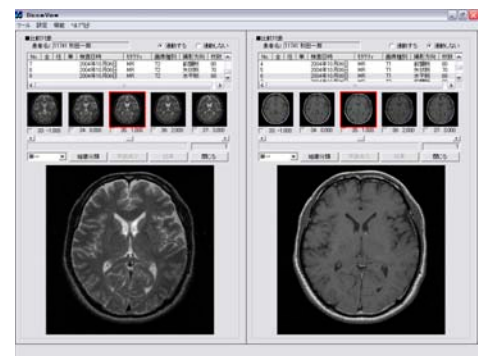


図2. 比較読影画面

強調種の異なる同一断面（水平断、前額断、矢状断）の比較読影や過去に撮影した画像との比較読影ができます。

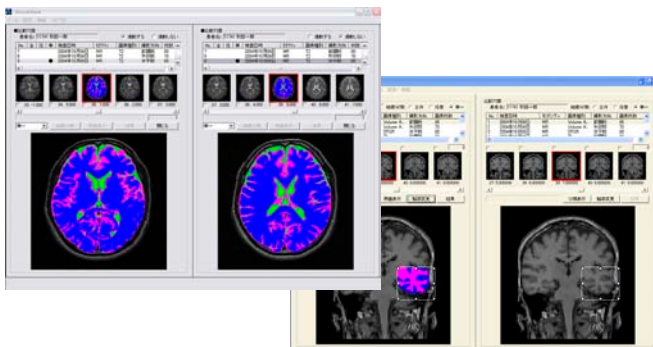


図3. 画像解析画面

一次元自己組織化マップを用いて画像特性を自己学習することで、脳組織を自動分類することができます。



図4. 組織分類結果のグラフ表示画面
診断に有効な組織（脳脊髄液、灰白質、白質）別比率をグラフおよび数値表示することができます。

【秋田県産業技術総合研究センター高度技術研究所】

TEL018-866-5800 URL <http://www.akita-iri.pref.akita.jp>

【株式会社アキタ電子システムズソフトウェア開発センター】

TEL018-886-4171 URL <http://www.akita-elec.co.jp>



財団法人 あきた企業活性化センター
秋田県地域結集型共同研究事業

TEL 018-860-5613
<http://www.bic-akita.or.jp/kesyu/>